



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 アルコニックス株式会社

コード番号 3036 URL <http://www.alconix.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正木 英逸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務本部長 (氏名) 宮崎 泰 TEL 03-5575-2700

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	116,679	47.6	2,758	144.3	2,839	167.5	1,862	7.9
22年3月期第3四半期	79,027	△45.1	1,129	△31.5	1,061	△36.2	1,725	469.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	347.13	346.39
22年3月期第3四半期	647.52	647.27

(注)当社は、平成22年8月1日付で当社普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。このため当該株式分割が前連結会計年度の開始の日に行われたと仮定した場合における前第3四半期連結累計期間に係る1株当たり四半期純利益金額は323.76円、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は323.64円であります。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	57,041	11,941	20.4	1,879.31
22年3月期	40,219	9,157	22.2	3,346.94

(参考)自己資本 23年3月期第3四半期 11,656百万円 22年3月期 8,924百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

当社は、平成22年8月1日付で当社普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。このため平成23年3月期(予想)の期末配当及び年間配当につきましては当該株式分割を考慮しております。また分割実施前におきましては期末配当及び年間配当1株当たり90円の配当に相当いたします。

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	42.9	2,980	93.9	3,000	113.9	1,950	8.4	314.38

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

当社は平成22年8月1日付で、当社普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。また、同年12月22日の当社株式の一般募集による払込を受けて発行済株式総数は870,000株増加しております。このため平成23年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割及び一般募集による払込が期首に行われたと仮定して算定しております。

4. その他（詳細は、[添付資料]5ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 6,202,800株 22年3月期 2,666,400株  
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 34株 22年3月期 0株  
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 5,364,412株 22年3月期3Q 2,664,568株  
(注)平成22年8月1日付で当社普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示  
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]の4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。  
2. 当社は平成22年8月1日付で、当社普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。また、同年12月22日の当社株式の一般募集による払込を受けて発行済株式総数は870,000株増加しております。このため平成23年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割及び一般募集による払込が期首に行われたと仮定して算定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. その他の情報 .....	5
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	5
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、やや減速傾向にあるものの引続き高い水準にある中国を中心とするアジア諸国の経済成長に牽引され、緩やかな回復基調で推移いたしました。

わが国経済は、期初にかけて順調な景気回復を続けてきたものの、政府の景気対策効果の一巡や急激な円高の進行等により徐々に停滞色を強める結果となりました。

当社グループを取巻く非鉄金属業界においては、自動車、デジタル家電を中心に、非鉄金属素材の需要が増勢を維持しました。

このような経済環境のもと、当社グループの売上面では、自動車用鋼管素材、半導体向け伸銅品、アルミダイカスト向けアルミ合金塊、電池材料等の取扱いが前年同期に比べ大きく増加いたしました。また当社グループが得意とするレアメタルの取扱いも大きく伸びました。特に中国の輸出枠削減を背景に価格が高騰しているレアアースの取扱いにおいて、供給ソース確保に注力した結果、この分野の取扱いが大きく伸びました。一方、利益面においては、レアメタル、レアアース等比較的利益率の高い取扱いが大きく増加したことに加え、前年度より連結子会社化した国内子会社の業績が順調に推移していることから、前年同期に比べ大幅増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高116,679百万円（前年同期比47.6%増）、営業利益2,758百万円（同144.3%増）、経常利益2,839百万円（同167.5%増）、四半期純利益1,862百万円（同7.9%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

#### ・軽金属・銅製品事業

当第3四半期連結累計期間は、自動車、建機、半導体、家電分野の需要が引続き堅調に推移したことに加え回復が遅れていた建築建材分野において底離れの動きを見せたことにより、当セグメントの主要取扱い品である自動車用鋼管素材、アルミ板、銅板、銅管、及びアルミ箔等は増勢を続けました。また前連結会計年度以降に連結子会社化した株式会社大川電機製作所、林金属株式会社、アルコニックス・三高株式会社の業績も収益増に寄与いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は48,304百万円、セグメント利益は1,175百万円となりました。

#### ・電子・機能材事業

半導体、二次電池分野では、依然として実需が堅調に推移しており、液晶、自動車においてはやや翳りが出てきたものの、材料市況の上昇傾向により取扱高は伸長傾向にあります。チタン及びニッケル製品の輸出では、引き続き中国における電力プロジェクト向けチタン製品の輸出は堅調である一方、化学、船舶分野では、需要家サイドの材料在庫調整が進み徐々に引き合いは増えているものの、円高による受注環境は未だ厳しく、本格的な回復にはいたっておりません。

レアメタルの分野においては、磁性材用途等のレアアースをはじめタングステン、モリブデン等の取扱いが前年同期に比べ大きく増加いたしました。特に中国の輸出枠削減を背景に価格が高騰しているレアアースの取扱いにおいて、供給ソース確保に注力した結果、この分野の取扱いが大きく伸びました。

この結果、当セグメントにおける売上高は43,521百万円、セグメント利益は1,449百万円となりました。

#### ・非鉄原料事業

当セグメントの需要家である自動車産業及び鉄鋼業は、中国を中心とした新興国向け輸出の増大、及び国内でエコカー補助金や家電エコポイント制度等の政策効果で、2007年度比85%程度まで生産を回復させたことにより、当セグメントで取扱うアルミ合金塊、アルミ屑、銅屑並びに金属珪素、及び鉄鋼ミル向け脱酸材の売上は堅調に推移いたしました。またアルミ・銅市況が前年同期比、各々15%、24%増と騰勢に転じたことで、売上数量、売上金額ともに増加しました。

この結果、当セグメントにおける売上高は20,218百万円、セグメント利益は262百万円となりました。

#### ・建設・産業資材事業

国内建設業界の事業環境は、昨年7月より新設住宅着工戸数が前年同期比プラスに転じ、建築設備向けは回復基調がうかがえるものの、プラント向けが依然として低迷しており、当セグメントを取り巻く環境は、引続き厳しい状況で推移しております。一方、中東向け配管機材等、及びアジア向けの銅合金素材の海外取引は堅調な外需に支えられ売上増となりました。

この結果、当セグメントにおける売上高は7,271百万円、セグメント損失は36百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①財政状態

#### a. 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は50,977百万円であり、前連結会計年度末比16,910百万円の増加となりました。主な内訳は取引の増加等に伴う受取手形及び売掛金の増加9,132百万円、たな卸資産の増加5,937百万円、及び現金及び預金の増加1,419百万円であります。

#### b. 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は6,063百万円であり、前連結会計年度末比88百万円の減少となりました。主な内訳はその他無形固定資産の減少111百万円であります。

#### c. 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は40,899百万円であり、前連結会計年度末比15,035百万円の増加となりました。主な内訳は取引の増加等に伴う支払手形及び買掛金の増加5,489百万円、短期借入金の増加8,978百万円、及び未払法人税等の増加749百万円であります。

#### d. 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は4,200百万円であり、前連結会計年度末比996百万円の減少となりました。主な内訳は長期借入金の返済による減少814百万円、及び社債の償還による減少180百万円であります。

#### e. 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は11,941百万円であり、前連結会計年度末比2,783百万円の増加となりました。主な内訳は当社普通株式の一般募集に係る払込を受けたことによる資本金及び資本剰余金の増加がそれぞれ627百万円、利益剰余金の増加1,635百万円、上場株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少63百万円、及び為替換算調整勘定の減少59百万円であります。

### ②経営成績

#### a. 売上高

主要需要先である自動車、家電、IT関連業界の需要が期を通して堅調に推移していることから、自動車用鋼管素材、半導体向け伸銅品、アルミダイカスト用アルミ再生塊、及び電池材料の取扱い等が前年同期に比べ大幅に増加いたしました。またレアメタル関連の取扱いにおいても、主要取扱品であるタングステン、モリブデンに加え、デジタル家電、及びハイブリッド車向け等のレアアース等の取扱いが増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比47.6%増の116,679百万円となりました。

#### b. 売上総利益

売上増加とレアメタル・レアアース等比較的利益率の高い取扱いが伸長したことに加え、前連結会計年度から連結子会社化した国内子会社の収益が売上総利益の増加に貢献いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は前年同期比47.5%増の6,415百万円となりました。

#### c. 販売費及び一般管理費

前連結会計年度から連結子会社化した国内子会社の人件費等が連結実績に反映されたことにより、当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は前年同期比13.6%増の3,657百万円となりました。

#### d. 営業利益

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は前年同期比144.3%増の2,758百万円となりました。

#### e. 営業外収益、営業外費用

保有する上場株式等に係る受取配当金、及び外貨建決済取引に係る為替差益の増加等により、営業外収支（営業外収益－営業外費用）は81百万円の収益超となりました。（前年同期は67百万円の費用超）

#### f. 経常利益

上記の結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益は前年同期比167.5%増の2,839百万円となりました。

g. 特別利益、特別損失

持分法非適用関連会社の清算結了に伴う関係会社清算益32百万円、連結子会社における受取保険金367百万円、貸倒引当金戻入額16百万円、及び新株予約権戻入益1百万円を特別利益に計上いたしました。一方、保有投資有価証券の減損処理に伴う投資有価証券評価損17百万円を特別損失に計上いたしました。

h. 四半期純利益

税金等調整前四半期純利益3,239百万円から法人税等1,324百万円、連結子会社であるアドバンスト マテリアル ジャパン株式会社、ALCONIX (THAILAND) LTD.、及びALCONIX LOGISTICS (THAILAND) LTD. の少数株主利益53百万円を差引き、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同期比7.9%増の1,862百万円となりました。

③キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,403百万円増加し、6,790百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な変動要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,623百万円の減少となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益3,239百万円、仕入債務の増加5,583百万円、及び保険金の受取額367百万円であります。一方、主な減少要因は取引の増加に伴う売上債権の増加額9,215百万円、たな卸資産の増加額5,437百万円、前渡金の増加額351百万円、及び法人税等の支払額616百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、874百万円の減少となりました。主な減少要因は投資有価証券の取得による支出128百万円、持分法非適用関連会社からの事業譲渡を受けたことによる営業の譲受に伴う支出523百万円、及び保険積立金の積立等による支出133百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、8,980百万円の増加となりました。主な増加要因は短期借入金の純増加額9,069百万円、及び当社普通株式の一般募集に伴う株式の発行による収入1,255百万円であります。一方、主な減少要因は長期借入金の返済による支出932百万円、社債の償還による支出180百万円、及び配当金の支払額226百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期の業績予想につきましては、平成23年1月24日付にて公表いたしました業績予想に変更ありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 簡便な会計処理

- a. 連結財務諸表における重要性が乏しい会社において、四半期財務諸表における税金費用の計算にあたり、税引前四半期純利益に、前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて算定する方法としております。
- b. 貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。
- c. 四半期連結会計期間末におけるたな卸高の算出に関し、実地たな卸を省略し前連結会計年度に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。  
また、たな卸資産の簿価切下げに関して収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。
- d. 繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

#### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・会計処理基準に関する事項の変更

#### ① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はございません。

#### ② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はございません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,928,962	5,509,356
受取手形及び売掛金	26,999,098	17,866,793
商品及び製品	14,727,699	8,796,963
仕掛品	28,712	21,932
原材料及び貯蔵品	8,155	7,900
その他	2,482,417	2,040,270
貸倒引当金	△197,171	△176,186
流動資産合計	50,977,874	34,067,031
固定資産		
有形固定資産	2,910,962	2,987,256
無形固定資産		
のれん	29,012	38,015
その他	458,675	569,885
無形固定資産合計	487,688	607,900
投資その他の資産	2,664,938	2,556,963
固定資産合計	6,063,589	6,152,120
資産合計	57,041,463	40,219,151
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,135,379	16,646,073
短期借入金	14,663,980	5,685,096
1年内返済予定の長期借入金	1,576,000	1,694,200
1年内償還予定の社債	360,000	360,000
未払法人税等	1,062,692	313,038
賞与引当金	135,911	257,150
その他	965,774	908,980
流動負債合計	40,899,738	25,864,538
固定負債		
社債	—	180,000
長期借入金	3,182,000	3,996,000
退職給付引当金	185,645	175,609
役員退職慰労引当金	90,782	59,849
長期未払金	334,141	329,453
その他	407,950	456,383
固定負債合計	4,200,519	5,197,295
負債合計	45,100,257	31,061,834



(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,721,538	2,093,742
資本剰余金	1,763,761	1,135,965
利益剰余金	7,194,762	5,559,269
自己株式	△55	—
株主資本合計	11,680,007	8,788,976
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	117,634	180,766
繰延ヘッジ損益	24,310	60,336
為替換算調整勘定	△165,060	△105,790
評価・換算差額等合計	△23,115	135,312
新株予約権	44,711	43,704
少数株主持分	239,601	189,324
純資産合計	11,941,205	9,157,317
負債純資産合計	57,041,463	40,219,151

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	79,027,395	116,679,791
売上原価	74,678,146	110,264,343
売上総利益	4,349,248	6,415,447
販売費及び一般管理費	3,220,134	3,657,333
営業利益	1,129,114	2,758,114
営業外収益		
受取利息	10,889	6,127
仕入割引	12,828	15,730
受取配当金	10,673	45,517
為替差益	136,663	234,479
業務受託料	5,537	11,223
不動産賃貸収入	19,633	34,967
その他	41,661	44,807
営業外収益合計	237,887	392,852
営業外費用		
支払利息	144,836	179,637
社債利息	10,212	4,760
売上割引	8,399	7,756
為替予約評価損	36,211	—
手形売却損	38,504	35,921
不動産賃貸原価	—	11,556
その他	67,422	71,953
営業外費用合計	305,586	311,586
経常利益	1,061,414	2,839,380
特別利益		
固定資産売却益	—	3
貸倒引当金戻入額	1,152	16,663
負ののれん発生益	1,090,309	—
役員退職慰労引当金戻入額	11,458	—
新株予約権戻入益	1,220	1,086
関係会社清算益	—	32,445
受取保険金	—	367,213
特別利益合計	1,104,141	417,412
特別損失		
固定資産売却損	99	—
固定資産除却損	170	157
投資有価証券評価損	43,140	17,323
ゴルフ会員権評価損	2,000	—
特別損失合計	45,411	17,480
税金等調整前四半期純利益	2,120,145	3,239,312
法人税等	380,756	1,324,132
少数株主損益調整前四半期純利益	1,739,388	1,915,180
少数株主利益	14,037	53,042
四半期純利益	1,725,350	1,862,137

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,120,145	3,239,312
減価償却費	225,119	242,992
のれん償却額	22,208	9,002
負ののれん発生益	△1,090,309	—
株式報酬費用	13,490	2,094
新株予約権戻入益	△1,220	△1,086
受取保険金	—	△367,213
関係会社清算損益 (△は益)	—	△32,445
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	35,184	21,340
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△68,138	△120,850
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△44,035	10,036
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△30,107	30,932
受取利息及び受取配当金	△21,563	△51,645
支払利息	144,836	179,637
社債利息	10,212	4,760
為替差損益 (△は益)	27,957	△73,102
為替予約評価損益 (△は評価益)	36,211	—
固定資産売却損益 (△は益)	99	△3
固定資産除却損	170	157
投資有価証券評価損益 (△は益)	43,140	17,323
ゴルフ会員権評価損	2,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,974,283	△9,215,718
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,176,231	△5,437,242
仕入債務の増減額 (△は減少)	△607,774	5,583,551
未収消費税等の増減額 (△は増加)	61,667	△77,288
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	7,320	△6,015
前渡金の増減額 (△は増加)	30,353	△351,707
前払費用の増減額 (△は増加)	18,343	18,753
未収入金の増減額 (△は増加)	220,349	△277
短期差入保証金の増減額 (△は増加)	△97	△775
長期差入保証金の増減額 (△は増加)	△2,316	△7,906
未払金の増減額 (△は減少)	1,647	△685
未払費用の増減額 (△は減少)	35,655	60,436
前受金の増減額 (△は減少)	△115,642	△37,499
預り金の増減額 (△は減少)	△30,260	51,819
その他	2,653	△54,339
小計	4,249,250	△6,363,650
利息及び配当金の受取額	22,717	51,440
利息の支払額	△141,299	△171,678
法人税等の支払額	△586,789	△616,047
法人税等の還付額	323,221	109,455
保険金の受取額	—	367,213
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,867,100	△6,623,267

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△105,000	△9,000
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△28,945	△34,427
有形固定資産の売却による収入	162	220
無形固定資産の取得による支出	△16,501	△15,554
投資有価証券の取得による支出	△793,210	△128,016
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,155,298	—
営業譲受による支出	△58,655	△523,602
貸付けによる支出	△11,000	△48,670
貸付金の回収による収入	8,645	14,564
保険積立金の積立による支出	—	△133,223
その他	△4,679	3,075
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,064,484	△874,634
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,107,852	9,069,645
長期借入れによる収入	5,270,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,475,500	△932,200
社債の償還による支出	△480,000	△180,000
株式の発行による収入	7,337	1,255,592
自己株式の取得による支出	—	△55
配当金の支払額	△225,314	△226,577
少数株主への配当金の支払額	△8,978	△6,183
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,020,308	8,980,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,434	△78,562
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△215,257	1,403,756
現金及び現金同等物の期首残高	6,609,709	5,386,356
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,394,452	6,790,112

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	軽金属・銅製品事業 (千円)	電子・機能材事業 (千円)	非鉄原料事業 (千円)	建設・産業資材事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	32,293,264	29,013,654	12,695,361	5,025,115	79,027,395	—	79,027,395
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	101,553	488,446	100,905	97,271	788,177	(788,177)	—
計	32,394,817	29,502,100	12,796,267	5,122,386	79,815,572	(788,177)	79,027,395
営業利益又は 営業損失(△)	424,150	546,385	204,295	△54,931	1,119,900	9,214	1,129,114

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	ドイツ (千円)	その他の 地域 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	68,909,555	3,880,187	6,237,652	79,027,395	—	79,027,395
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,664,471	88,108	334,258	4,086,838	(4,086,838)	—
計	72,574,026	3,968,296	6,571,910	83,114,233	(4,086,838)	79,027,395
営業利益又は営業損失(△)	1,099,077	△7,124	26,607	1,118,561	10,553	1,129,114

c. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア	北米	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	17,407,780	2,251,089	5,774,516	744,635	26,178,021
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	79,027,395
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.0	2.9	7.3	0.9	33.1

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に取扱商品及び製品別の事業本部を置き、各事業本部は、取扱商品及び製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎とした取扱商品及び製品別のセグメントから構成されており、「軽金属・銅製品事業」、「電子・機能材事業」、「非鉄原料事業」及び「建設・産業資材事業」の4つを報告セグメントとしております。

「軽金属・銅製品事業」は、アルミニウム製品（圧延品、押出材、鋳鍛造品、加工品、及び部品）、アルミニウム板素材、伸銅品（板条管の展伸材、加工品、及び部品）等を取り扱っております。「電子・機能材事業」は、化合物半導体、電子材料、チタン製品、ニッケル製品、レアメタル等を取り扱っております。「非鉄原料事業」は、アルミニウム二次合金地金、非鉄金属屑、金属珪素、亜鉛合金塊、マグネシウム地金等を取り扱っております。「建設・産業資材事業」は、配管機材、銅合金素材、アルミダイカスト製品、鋳物製品、ビル・マンションのリニューアル・リフォーム工事等を取り扱っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				合計
	軽金属・銅製品	電子・機能材	非鉄原料	建設・産業資材	
売上高					
外部顧客に対する売上高	48,101,479	42,648,468	19,769,608	6,160,235	116,679,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	203,477	873,046	448,707	1,111,375	2,636,607
計	48,304,957	43,521,514	20,218,316	7,271,611	119,316,399
セグメント利益又はセグメント損失（△）	1,175,623	1,449,942	262,222	△36,201	2,851,586

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	2,851,586
セグメント間取引消去	△12,205
四半期連結損益計算書の経常利益	2,839,380

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、新株式発行（一般募集）による払込を平成22年12月22日に受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が627,796千円、資本準備金が627,796千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,721,538千円、資本剰余金が1,763,761千円となっております。